

発行所
氷川神社社務所

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南4-44-19

電話 03-3314-4147

FAX 03-3315-0034

<https://www.koenji-hikawa.com/>

発行責任者
松井 美加子



氷川神社
火焰太鼓修復完了

修復された火焰太鼓

氷川神社拝殿にある火焰太鼓は昭和46年謹製であり、氏子地域の天名家總本店・市川修様にご奉納賜りました。

ここまで約50年間、祭事の際に使用してきましたが、最近では老朽化が著しく進んだため、先日修復完了した胴太鼓と同じタイミングで修復することにしました。胴太鼓修復でもお世話になった(株)宮本卯之助商店(浅草)に修復をお願いして、先日素晴らしい姿に生まれ変わり神社に戻ってきました。

ご奉納賜りました天名家様、市川様には改めて御礼を申し上げます。これからも大切に使用していきます。



奉納
(昭和14年4月)
天名家總本店
市川修



10月になると秋が一気に深まり、日に日に冬の気配を感じる時期になりました。気づくともう年の瀬が近づいており、慌ただしくなりそうです。しかしコロナの再拡大が懸念されており、神社にとっては新年の初詣参拝の対応を考えなければなりません。いろいろ工夫を重ねて、参拝者の安全を確保して、気持ちよくご参拝にお越し戴けるよう実行していきたいと思っております。今年もあと一か月少しとなりましたが、皆様が無事に年を越せることを祈念申し上げます。

高円寺学園の子供たちが お越しになりました

高円寺カルタ

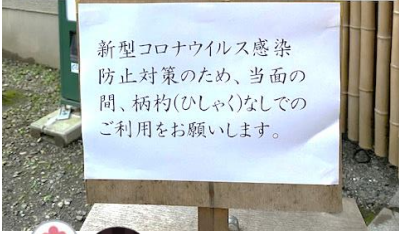
10月17日(土) 高円寺学園の子供たちが地域学習として氷川神社と気象神社にお越しになりました。少人数のグループに分かれて高円寺の町やお寺や神社を訪問して、いろんなことを学んだり体験したりするものです。氷川神社にお越しになった子供達からの質問を答える形で進め、氷川神社の由緒、参拝方法などを学びました。



高円寺学園のこどもたち

ご参拝と手水の作法の 掲示板を設置しました

氷川神社、気象神社へご参拝される時の手水と拝礼の作法の掲示板を手水舎や拝殿に設置しました。かわいいイラストでわかりやすく描かれているため、参拝者から大好評です。参拝者の拝礼姿がより正しい姿になることで氏神様も喜んで戴けると思っています。



高南宝扇会の皆様に境内の花植えをして戴きました

10月18日(日) 高南宝扇会との皆様が境内の花植えを手伝ってくれました。夏から秋にかけての花が元気がなくなってきたので、秋々冬用の花を用意しました。皆様のおかげで境内が華やかになりました。本当に有難う御座います。今後とも宜しくお願い申し上げます。

サントリーフラワーズ株 「プリンセチア」ご奉納

サントリーフラワーズ株様からは定期的に同社オリジナルの「ムーンダスト」をご奉納戴いておりますが、今回は「プリンセチア」をご奉納戴きました。気象神社をはじめ、境内各所に置きましたので是非ご覧になって下さい。

「プリンセチア」は、華やかな苞が隙間なく広がるユーフォルビアの新品種です。商品名は、「プリンセス」のような華やかな印象と、「ポインセチア」を組み合わせて「プリンセチア」と名付けました。
(サントリーフラワーズ株公式サイトより抜粋)



★「こうえんじん」★

第三十九話

氷川神社の運営に日頃からご協力戴いている方々にそれぞれの想いを自由に語って戴きます。

題名の「★こうえんじん★」は「こうえんじ(高円寺)」と「じん(人)」を組み合わせた言葉(題名)です。

第三十九話は北庚申文化会副会長の市川敬喜さんです。



いちかわ たかよし

市川敬喜

北庚申文化会副会長

「ありがとう“こうえんじ”」

高円寺の人で「高円人」。私の高円寺歴は今年の8月で74年になりました。両親が北口庚申通りに店を構えたのが昭和5年、昭和47年に父が亡くなり受け継いだお店は、創業88年を迎えた昨年、たくさんのご愛顧に感謝しつつ廃業、新たな出発をしました。私を育み、支え続けてくれている街が「高円寺」です。

小学校は杉四に通い、中学・高校・大学と都心への電車通学。当時は、高円寺を取り立てて意識はしてはいませんでした。年齢を重ねて町内会や商店街の活動の中で、町の発展や安心・安全などにも目を向けるようになりました。

8月の高円寺と言えば「阿波踊り」。夏の一大イベントです。けれども昔からこの時期は「氷川神社の

お祭り」があります。子供の頃、縁日の屋台がところ狭しと並ぶ神社境内で遊びました。そして親になり子供を連れて、今は孫を連れて楽しむ「お祭り」です。

町内会ではお神輿や山車が出て、にぎやかな数日間となります。私はお店の決算に重なり「見る阿呆」に徹していましたが、町をあげての氷川神社の例大祭は楽しみでした。

残念ながら今年はコロナの影響で、私達の庚申文化会でもお祭りは中止となりましたが、氷川神社の神事は齋行して戴きました。

「おまつり」の本来の目的は神仏に対する「感謝」の表現であったり、先祖に対する「感謝」の表現であったり、わけですが、本旨は受け継がれながらも、だんだんと楽しいイベントとなってきたような感じです。

一年の収穫を神様に感謝し、供え物を捧げ、「秋のまつり」が行われる。そんな物事の始まりに思いをはせると、自然の恵みに生かされ、人々が助け合いながら手にする収穫のよろこび。周りのすべてに感謝を向ける先人たちの謙虚な人間性が浮かびます。

このところ毎年のように自然災害が発生、今年はコロナ禍と重なり被災地は大変な状況です。そんな中に「災害ボランティア」に参加されている方々の活躍を見て、日本人の他に向ける愛他の精神、意識の高さにそのルーツを考えてみたくくなります。



(上)高円寺庚申通り商店街



(右)旅行先で

自己紹介

氏名 : 市川敬喜(イチカワタカヨシ)
生年月日 : 昭和21年8月15日
出身 : 杉並区高円寺(現在の場所)
血液型 : A型
趣味 : (今は)ドライブ・旅行・DIY (学生時代)バイク・スキー・ギター
特技 : 特になし
座右の銘 : 一心・一念
高円寺お薦めスポット : 庚申通り商店街(期待を込めて)
一言 : ありがとう“こうえんじ”



仏さまの教えに「先に他のために

為し 後に自身のためにせよ」という「大乘利他」の精神が説かれています。他の為になす行いを通して、自らが、清浄な知恵を身につけることが出来る、ということのようです。自分中心のエゴを見返る、身の回りに迷惑をかけない配慮など、その心・人間性が国難ともいえる「コロナ感染症」を乗り越える『ポイント』になるかもしれません。

『聡明』な日本人の心・人間性には、遠い昔からの「神・仏の教え」が息づいているのでしよう。尊び大切にしていくな神やお寺は、そんな『聡明』な国民を育み続ける存在ではないでしようか。



新年初詣のご案内 新年ご祈禱のご案内

早いものでまもなく新年を迎えます。正月期間は氷川神社にも多くの参拝者がお越しになります。今年にはコロナ感染防止対策を色々工夫して実行していきたいと思ひます。少しでも混雑を避けるために参拝を分散して戴けるように呼び掛けていきたいと思ひます。一般的に初詣参拝は「正月三日」「松の内」までに済ませるのがよいとされてますが、旧暦では「立春」の前日にあたる節分に新しい一年が始まるとされておりましたので、2月2日まで初詣して戴くこともできます。人ごみも避けて落ち着いて参拝できると思ひますのでお試し下さい。



氷川神社では、新年清祓(初詣)を始め、厄祓い、その他各種祈禱を承っております。年の始めに是非、神恩感謝と弥栄、安寧を祈願いたしまししょう。詳しくはお気軽にお問い合せ下さい。皆様のご来臨をお待ち申し上げます。

ご予約・お問い合わせ

氷川神社 ☎03-3314-4147 Email kontani.daishin@koenji-hikawa.com

令和3年 厄年年齢早見表(数え年によるもの)

Table with 3 columns: 前厄, 本厄, 後厄. Rows for 男性の厄年 (24, 41, 60 years).

Table with 3 columns: 前厄, 本厄, 後厄. Rows for 女性の厄年 (18, 32, 36, 60 years).

◆数え年とは、満年齢に誕生日前には二才、誕生日後には一才を加えた年です。

お知らせ

◆「シブ5時」に気象神社が登場予定 11月26日(木)にNHK総合「シブ5時(16時50分)」に気象神社が登場予定です。お時間があれば、ご覧ください。放送予定日が変更になる可能性もあります。

◆「ヒルナンデス！」に 気象神社が登場

10月28日(水)日本テレビ「ヒルナンデス！」で気象神社取り上げて戴きました。阿佐ヶ谷姉妹がご参拝にお越しになった様子が放送されました。また高円寺阿波おどりや小松原庸子スペイン舞踊団も紹介されました。



阿佐ヶ谷姉妹様には下駄絵馬をご奉納戴きました

◆石玉垣建立事業のご奉納受付◆

※詳細は174号に掲載しています。

- ①石玉垣の建立本数 大(縦70cm x 横22cm) : お陰様で目標本数は集まりました。ご奉納有難う御座います。残り15本程度です。
②奉納金額 小 : 13万円
③建立時期 奉納者集まり次第、工事開始予定ですので、現段階では未定ですが、年明け～来春には設置予定です
④ご尊名の刻印 玉垣にご指定のご尊名を刻印いたします
⑤申込み・問い合わせ 社務所窓口 9-14時 ☎03-3314-4147 email kontani.daishin@koenji-hikawa.com

今月の盆栽

今年から氏子地域の盆栽屋ラビアデッソ様が毎月盆栽を神社に届けてくれることになりました。毎月紹介していきます。



編集後記

ひかわ176号をお送りしました。今月の「こうえんじん」にご投稿戴いた市川様の投稿内容には非常に勉強になりました。「神社とは？」という問いかけに適切な言葉だったと感じました。秋が深まり冬が近くなってきました。コロナ情勢も引き続き混沌としてますが、できることを一日一日地道にこなしていくことが大事だと考えています。引き続き宜しくお願い申し上げます。